

# 巻頭言 『「Rehabilitation」はどのように訳すか？』

監事 大塚 進

この写真の文言は英語とミャンマー語の併記なので意味はお分かりと思いますが、ミャンマー語の部分をそのまま日本語訳すると、「骨・関節病治療と身体壮健回復の専門医学部門」のようになります。またミャンマー語でのPhysiotherapistをそのまま日本語訳すると「骨・関節治療師」。OTは漢字圏でも台湾では「職能治療」ですが中国本土では「作業療法」（簡体字で）。日本でもPT・OTが導入・法制化されるとき日本語をどうするかかなりの議論があって、理学療法、作業療法となり、リハは訳せずそのまま外来語として定着しました。国際リハ関係者の皆さん、各国語でリハあるいはPT・OTはどのようにその国の言語で扱われていますか？その実態と合わせて考えると興味深いですね。



## 特集

### 「国際リハライブ2019 ～国・文化・社会を踏まえた臨床の展開 国際リハビリテーションの視点をどう活用するか？～」開催報告

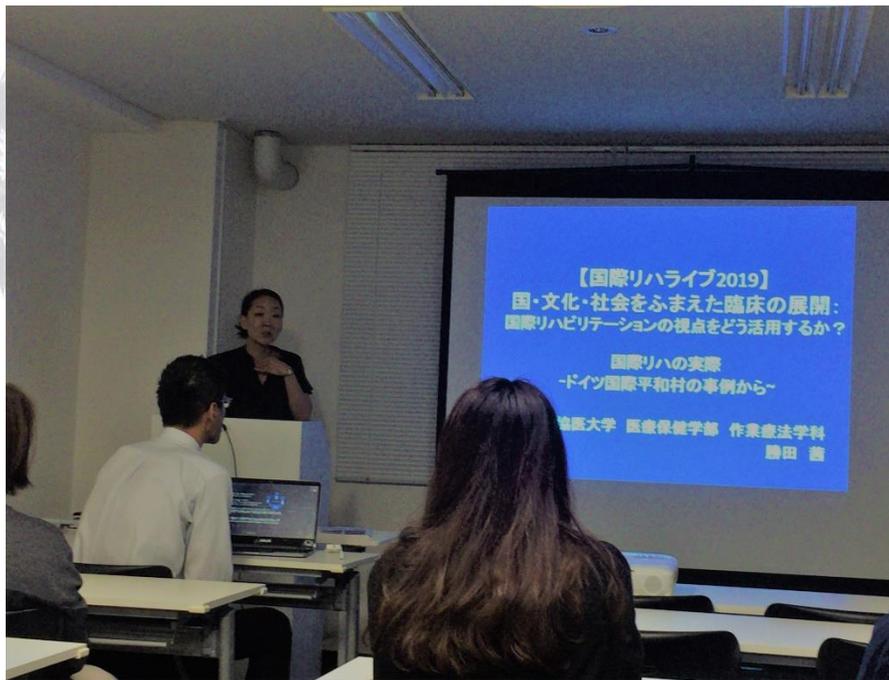
#### リハライブが博多にやってきたたい！！

昨年、日本作業療法学会が福岡で開催されるとわかり、2019年は国際リハビリテーション研究会が九州に上陸しました。初めての九州イベント開催！どんな企画内容で、多くの方に来ていただけるだろうか？と不安になりながらも西日本支部長の広田美江さんと一緒にスタートしました。お互いに大分県在住、熊本県在住と離れ、中々顔を合わせて話す機会がなく、また西日本広報担当の大室部長も佐賀県在住と離れているなど…途上国より交通の便はいいのですが、不安と時間だけが過ぎていきました。

A promotional graphic for 'International Rehabilitation Live 2019'. The top part has a blue background with the title '国際リハライブ 2019' in yellow and white. Below the title is the subtitle '国・文化・社会を踏まえた臨床の展開 国際リハビリテーションの視点をどう活用するか？'. The middle part shows a group of diverse children sitting around a table, looking at a map of the world. The bottom part has a green background with the event date and time: '9月6日(金) 18:30~19:45', the location: 'レンタル会議室 知恵の場オフィス博多', and the organizer: '主催：国際リハビリテーション研究会'.

福岡在住でないため土地勘やコミュニケーションがそんなになく、メールやMessenger（FBのチャット機能）を駆使しながら企画や段取り、会場場所や懇親会の準備、そして当日の運営などのやりとりを行っていきました。会場の立地と懇親会の料理にこだわり、草の根根性から見つけ出すお得情報などにも助けられ、無事に当日開催までたどり着きました。いつもの顔ぶれだけでなく、初参加の方もおられるなど有意義な意見交換ができてとてもいいリハライブでした。

今回のリハライブで西日本や九州の国際リハビリテーションの活動や関わっていることなどを発表、もしくは聴講できたらよかったです、まだそこまで到達できずに今後の課題となりました。アジア都市である福岡、そして九州での活動はどのようなものがあるのか、アンテナを広げ、2020年福岡開催予定の第4回学術大会に繋げていきたいと思います。



(林 寿恵)

## ドイツ国際平和村での経験を基に事例紹介を行って

リハライブ2019が2019年9月6日（金）に福岡県で開催されました。当日は13名の参加者がありました。

本研究会の代表河野眞先生の開会の挨拶で始まり、国際リハ事例集積の現状について寺村晃先生にご講演いただきました。その中では、今後の急速なグローバル化に伴い、日本国内において外国人の方にリハビリを提供する機会がますます増えることが予測されることについても触れられていました。続いて、国際リハの実際として、ドイツ国際平和村での経験を基に事例紹介させていただきました。その後、「国際リハ事例経験をいかに活用するか」をテーマにディスカッションを行いました。会場からは質問を含め、有意義な意見・発言があり、活発な議論が展開できました。



海外での活動経験がある先生方の中で、自身の経験を紹介させて頂いたことで、改めて自身の活動を振り返り考える機会となりました。国・文化・社会など異なる場合において、有意義なリハビリを実施するためには、自分自身が考える「当たり前」を自覚し、相手との違いを認識・尊重できることが重要なのだ感じました。

今後も国際リハビリテーション研究会が主催するイベント等に参加し、様々な視点を身につけていきたいと思いました。  
(勝田 茜)

## 特集「国際リハカフェは続く」

ニューズレター前号で寺村さんが報告してくれた国際リハカフェ。今年度の活動計画にはなかったけれど、この6月に突如勃発したこの企画は10月で第4回目を迎えます。

予算もついていないため、会場費は参加者の割り勘、講師・運営スタッフはボランティアという手弁当感みなぎる活動ですが、折に触れ気まぐれに吹く国際リハの風をタイミング良くとらえ、多彩な内容で国際リハについて考える機会を提供しています。

これまでのテーマは、

第1回：フィリピンの障害者施設での研究について寺村さんに聞く

第2回：第4回アジア太平洋CBID会議参加報告会 今、CBR/CBIDはどうなっているか？

第3回：タイの高齢者福祉をナッタデットさんと見て来ました

第4回：国境を超えるリハビリテーション：パートナーシップとしてのリハビリテーションとコミュニティとの協働

というラインナップです。

テーマもさまざまですが、参加者もさまざま。すべての回に参加している人はスタッフ含めて一人もいません。毎回突発的に開催されることもあり、参加者は少ないものの、その分、小グループでの密なやり取りがなされています。

学術大会やセミナーの形で充分時間をかけて準備するイベントはもちろん重要ですが、国際リハカフェのような機動力があってカジュアルなイベントにもその良さがあると感じます。引き続き、折に触れ国際リハカフェを企画しますので、どうぞご注目ください。

(河野 眞)



### お知らせ

#### 【国際リハビリテーション研究会第3回学術大会開催】

- ・開催日：2019年11月9日（土） 会場：聖心女子大学4号館聖心グローバルプラザ
- ・テーマ「世界の多様性に貢献するリハビリテーション」参加申込受付中！
- ・プログラム：シンポジウム「セラピスト養成課程での国際リハビリテーション教育のあり方：現状と国際看護からの学び」「国際リハビリテーションにおける障害当事者とリハ専門職の協働の可能性」、EPA/特定技能関連特別セッション「外国人介護士の受入れと拡大を考える」、他
- ・大会ホームページ <http://jsir-conference-2019.zohosites.com/>

#### 【国際リハビリテーション研究会第4回学術大会開催】

- ・開催日：2020年11月頃 場所：福岡
- 初の九州での開催となります。詳細については今後、広報します。お見逃しなく！



第3回学術大会  
QRコード

# コラム 大室和也の「せかいのめがね」

～佐賀編 2～

事務局担当の大室理事はハンガリーを拠点に世界中で活動を展開中です。このコラムではそんな大室理事のメガネを通した世界の姿を毎号お届けします。

今回も佐賀の話題をお伝えします。8月28日に発生した、「令和元年九州北部豪雨」について▼発災日。未明、低く地鳴りのような雷鳴の連続と豪雨。恐怖。翌朝、近所の避難所に行こうと外に出たところ、白茶けた水でプールとなった道路に唾然▼昼過ぎ、AAR東京本部に電話。写真を交え状況を説明。その日から被害情報の収集を始めました—ということで、AARの活動についてはホームページをご参照 (<https://www.aarjapan.gr.jp/activity/>) ▼洪水、氾濫、農地水害、土砂崩れという雨にまつわる災害は、日本各地で毎年のように発生しています。急峻な山々で成り立つこの国では、自分の住む町にも必ず来る、とっておいた方がよい。2018年日本は、災害で亡くなった方の数が世界で4番目でした▼浸水被害は、家屋、家電製品、車、田畑の他、書類、データ、教科書、写真など、あらゆるモノに及びます。モノは再度入手すれば何とかなるかもしれませんが、水が引いた後に残るのは、溝のような臭気と湿気。これをなんとかしないと家には戻れません。長く根気のいる日々です▼発災の瞬間は大きく報道され世間の注目を浴びますが、それもつかの間。すぐにマスコミは、中央政府を忖度した報道や何が面白いのかわからないバラエティを垂れ流す作業に戻ります。いつまでが「被災地」なのか、その意味も十分に考えなくてはなりません。



ボランティアとして活動する方々



集められた大量の廃材がグラウンドを埋める

## 編集後記

今年も、次々に災害が日本列島を襲っています。本号の編集作業にも台風15号・19号が少なからず影響しました。被災された方にお見舞いを申し上げますとともに、早期の復旧復興を願います。また、本号より4頁の構成となりました。これからも皆さんに有用な情報をお届けできるよう努めます。 (高橋 恵里)

【研究会FaceBook】 <https://www.facebook.com/pages/category/Nonprofit-Organization/> 国際リハビリテーション研究会-1951070205159667/  
【お問い合わせ】 国際リハビリテーション研究会事務局 [jsir.office@gmail.com](mailto:jsir.office@gmail.com)

